

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室でも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

【症状改善！
ツボ&リンパマッサージ】
監修/横山由美子
出版社/成美堂出版
冷え性、くま・くすみ、便秘、肩こり…。女性の悩みは色々です。内臓機能を調整し精神の安定をもたらすツボ押しと、疲労回復を促すリンパマッサージを組み合わせたセルフケアを紹介。全身のツボ&リンパマップも収録されています。



【おでんオデッセイ】
著/山本幸久
出版社/美業之日本社
東京の大手商社を退職し伊竹市にUターンした静香は、一念発起して町おこしプロジェクトに応募し、おでんの屋台「かいっちゃん」を始めます。経営はいつもギリギリですが、店には今宵も個性あふれる常連客が訪れます。



【誰かがジョーカーをひく】
著/宇佐美まこと
出版社/徳間書店

家を出て、車を走らせていた平凡な主婦沙代子ですが、車に乗り込んできた紫苑に言われるまま、現金3,000万円入りのポストバックを受け取ります。実はそのお金は誘拐事件の身代金だったのです。事件に巻き込まれた紫苑と沙代子の運命は？



【世界の文化遺産になった日本の伝統「風流踊」3 中国・四国・九州】
編著/「日本の伝統「風流踊」制作委員会
出版社/汐社

ユネスコの無形文化遺産となった日本の「風流踊」。その土地の歴史や風土を反映し、古くから伝承されてきた風流踊の由来や踊りの流れ、衣装などを写真とともに解説した1冊です。3は平戸のジャンルも収録されています。



【お金たちの愛と冒険】
作/小手鞠るい
絵/ゆうこ
出版社/文研出版

日本人は「お金の話をするのは良くないこと」と考えがち。でも、本当は大切なことですよ。お金で夢は買えないけれど、お金は夢の実現を可能にしてくれるのです。お金をじょうずに賢く使って、少女少女、大志をいだけ！



【おんせんぼかぼか】
作絵/パト・メナ
訳/星野 由美
出版社/岩崎書店

雪山にくらし、温泉にぬくもりをもとめて暮らす、さるのかぞく。ぼちっ、とっこ、ぼかぼか、ふう〜。おんせんが大好きな、さるの一日をのぞいてみよう！オノマトペとピクトグラム(絵文字)がたのしい寒い季節にぴったりの絵本です。



各図書館・図書室連絡先

- 平戸図書館 ☎22-4017
- 永田記念図書館 ☎22-9182
- 南部公民館図書室 ☎22-9191
- 生月図書室 ☎22-9202
- 田平町中央公民館図書室 ☎22-9211
- 大島村公民館図書室 ☎55-2511

図書館ホームページ

http://www.hirado-lib.jp
スマートフォンなどから二次元コードを読み込んで簡単にアクセスできます。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	11日(日)・18日(日)・25日(日) 午後2時~
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	14日(水)・28日(水) 午前10時30分~
	「みんなdeシネマ」(未来創造館ホール) 『博士と狂人』(イギリスほか:124分)	10日(土)・22日(木) 午後2時~
	鄭成功生誕400周年記念講演会(未来創造館)	17日(土) 午後2時~
	ライブラリーコンサート(平戸図書館) ■いちご&メロン(佐世保市吉井町)のみなさん。ひまわりコーラス(南部地区)のみなさんも友情出演されます。	24日(土) 午後7時~
永田記念図書館	おはなし会 ※随時変更することがあります。	毎週土曜 午後2時~

今月の休館日 平戸図書館：～9日(金)(蔵書点検のため)
永田記念図書館：6日(火)・20日(火)・25日(日)・27日(火)、12日(月・祝)～17日(土)(蔵書点検のため)

2月のイベント情報などをピックアップ!

まち協トピックス

2月のまち協の取り組みにご注目ください!

☎ 総務課まちづくり推進班 ☎22-9100

◆つよしひな壇飾り展

とき 2月15日(木)～3月10日(日)

ところ 津吉郵便局・津吉郵便局前休憩所・染川鉄工・かんぼストア・幸福堂醫院・多目的研修センター・津吉商船・旧住福商店・前津吉郵便局・旧早福へき地保育所・早福荘
※会場ごとに展示日が異なります

地域の皆さんでひな人形を展示しますので、ぜひご覧ください。

津吉地区まちづくり運営協議会 ☎27-0611



◆平戸市協働のまちづくりシンポジウム

とき 2月10日(土)午後1時30分～午後4時30分

ところ 平戸文化センター中ホール

市内で度島に初めてまちづくり運営協議会(以下「まち協」)が設置され10年を迎えます。

本シンポジウムでは、まち協が皆で話し合い、取り組みを行ってきたこの10年を振り返り、これからの10年をどのように歩むのか考えます。

○基調講演

梅元建治氏(一般社団法人ナガサキベイデザインセンター代表理事)

○事例報告

度島まちづくり運営協議会

○パネルディスカッション

話題提供(志々伎まち協、山田・館浦まち協、大島村まち協)、梅元建治氏、黒田市長

※掲載しているイベントの開催については、変更となる場合があります。

「古写真」から見る平戸の記憶遺産 vol.59

☎ 文化交流課文化遺産班 ☎22-9143

亀岡神社

亀岡神社は、明治13(1880)年に平戸城内にあった霊椿山神社と城下の七郎神社、乙宮神社、八幡神社の4社が合祀して建てられました。境内には拝殿と幣殿、登廊、本殿および、参道東側に神楽殿が所在し、これらの建造物は、平成24(2012)年に国の登録有形文化財に指定されました。上の写真は、昭和36(1961)年建設の鉄筋製の天守(沖見櫓)や神社の裏に位置する櫓門がなく、それ以前の写真ということになります。毎年10月24日から27日に行われる例大祭では、昭和62(1987)年に国の重要無形民俗文化財に指定された「平戸神楽」24番すべての演目が奉納される大大神楽が、拝殿や神楽殿で執り行われます。

また、亀岡神社の社宝である「鑢頭太刀」は大正5(1916)年に国の重要文化財に指定されています。



昭和36年以前の亀岡神社



現在の亀岡神社